



ケーブルコンベンション関連イベント

ケーブル技術ショー

Cable Tech Show 2018

人と地域と社会を結ぶ、
情報通信インフラの実現に向けて

最先端ケーブル技術の未来創造

Creating the future by the most advanced Cable Technology



実施報告書



INDEX

ごあいさつ	4
お礼	5
全体概要	6
来場者数	8
技術展示会会場図	9
技術展示会出展者一覧	10
技術展示会会場写真	11
技術セミナー概要	13
技術セミナー写真	14
技術セミナープログラム	15
テーマ展示ゾーン概要	16
テーマ展示ゾーン写真	17
会場内ツアー概要	18
会場内ツアー写真	19
来場者アンケート集計結果	22

ケーブル技術ショー2018

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、一般社団法人日本CATV技術協会及び一般社団法人衛星放送協会は、平成30年7月19日（木）、20日（金）の2日間、東京国際フォーラムにて「ケーブルコンベンション2018」と関連イベントである技術展示を中心とした「ケーブル技術ショー2018」を開催いたしました。

「ケーブルコンベンション2018」では、前広の周知広報活動の実施や今回のテーマである「Make the Next Stage」に沿った5GやAIといった次世代のテーマを取り上げることで昨年より来場者数が増えました。

また、業界内外の有識者による講演のほかケーブル事業者やサプライヤーがその取組み・知見を披露し討議するなどして情報共有を深めました。

「ケーブル技術ショー2018」は、ケーブル技術の粋を集めて、ケーブル技術ソリューションや最新機器の展示・発表を行いました。

この度、実施報告書がまとまりましたので、ここにご報告いたします。

関係各位のご支援・ご協力により、多数の方々にご来場を賜り、誠に有難うございました。私ども主催3団体では、今後も利用者のニーズに的確に対応し、ケーブル業界の発展に貢献してまいりたいと考えております。

来年もより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年10月10日

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟

理事長 吉崎 正弘

一般社団法人日本CATV技術協会

理事長 山口 正裕

一般社団法人衛星放送協会

会長 小野 直路

お礼 「ケーブル技術ショー2018」を終えて

日頃は、一般社団法人日本CATV技術協会の活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
改めまして御礼申し上げます。

さて、去る7月19日（木）、20日（金）の2日間、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、一般社団法人衛星放送協会及び弊協会3団体が主催いたしました「ケーブルコンベンション2018」と、その関連イベント「ケーブル技術ショー2018」に多数のご来場をいただき誠にありがとうございました。

「ケーブル技術ショー2018」では、87社（82ブース）がケーブルテレビの最先端技術や機器・ソリューションなどを展示しました。日本各地で最高気温を更新する猛暑の中、11,616名と今年も1万人を超える来場者数となりました。加えて、21枠の技術セミナーには延べ1,391名のご参加をいただき盛況の内に幕を閉じました。

技術セミナーでは出展企業が最新のケーブル技術を紹介したほか、主催者による新4K8K衛星放送用受信設備の施工等に関する課題・対応手法や米国における進化するケーブルアクセスネットワークに関する講演、そしてIoT時代の地域情報サービスを見据えたLPWAテストヘッドの取り組みなどを紹介しました。

テーマ展示ゾーンではNHK放送技術研究所による4K・8K試験放送をはじめ、4K8K放送サービス関連技術、ケーブルネットワーク高度化技術、IPDC技術を活用した防災・減災技術、地域のインバウンド需要に応える新たなソリューション、ケーブル伝送路の無電柱化への取り組みについて紹介しました。また、テーマ展示ゾーン内の見どころを凝縮して案内するミニツアーに加え、「4K・8Kケーブル技術」、「ニューテクノロジー・ソリューション」、そして「防災・減災、地方創生」の3つのテーマに関連した出展者を巡る会場内ツアーを新たに企画し、総数435名の参加者の方からは「様々な技術に触れることができた」、「普段立ち寄らない出展者の説明を聞くことができた」とご好評をいただきました。

今年12月からBS・110度CSによる新4K・8K衛星放送が開始されますが、4K・8K放送による東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の放送に国民の注目が集まっており、各社とも昨年にも増して4K・8K対応製品や、またそれらをケーブル伝送するためのFTTH関連製品、DOCSIS3.1対応製品の展示に熱が入っております。

来場者からは「新4K8K衛星放送開始に伴う動向に関心がある」、「FTTH導入に向けての情報収集」、「災害時の情報配信システムの重要性」などといった意見が多く聞かれ、今年のショーの印象として「良かった」との評価を数多く頂戴しました。また、今年も韓国ケーブルテレビ放送協会の視察、一般社団法人ケーブルテレビ情報センター（略称：CRI）による「CRI+ツアー」も実施されケーブル技術ショーに対する内外の評価も年々高まってきております。

また、今年のショーにはビジネスチャンス創出のための特筆すべき施策が3つございました。一つ目は展示会場を「プラットフォーム・総合」、「ヘッドエンド系・受信端末・伝送系」及び「ソフト・制作系・CPS/IoT・部品等」の3つのゾーンに分け展示内容の配置を分かりやすくしたこと。二つ目は入場受付付近にインフォメーションボードを設置し、会場案内図や出展者の一言PRなどで会場内の様子を伝えたこと。そして三つめは情報交流ラウンジと出展者商談スペースを設置し、情報交流ラウンジチケットやVIPバッジによる交流スペースの利活用の増進を図ったことです。さらに昨年からは始めた事前来場登録による「入場証（バーコード付き）」の持参で、受付をせずそのまま入場できる仕組みと、ケーブルコンベンション登録IDでの入場が定着し、展示会場への来場者の流れを非常にスムーズにすることが出来ました。

弊協会は、会員社、関係団体・機関と連携して、重要インフラとなったCATVの更なる普及・発展、信頼性の確保、地域の安心と安全を守る、また、東京オリンピック・パラリンピックの開催される2020年に向けて、CATV技術者集団として“最先端ケーブル技術の未来創造”を進めてまいります。

今後とも皆様の変らぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年9月

一般社団法人日本CATV技術協会
理事長 山口 正裕

全体概要

開催概要

開催テーマ

～人と地域と社会を結び、情報通信インフラの実現にむけて～
最先端ケーブル技術の未来創造
Creating the future by the most advanced Cable Technology

開催趣旨

今日、ケーブルテレビは、全世帯の52%以上となる全国約3千万世帯に放送サービスやインターネット接続サービスなどを提供する地域の総合情報通信メディアとして、重要な社会インフラの一つです。2018年12月からBS・110度CSによる新4K8K衛星放送が開始されますが、4K・8K放送による東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の放送には国民の期待が大きく高まりつつあり、今後、ケーブルテレビや共同受信におけるこれらの受信環境の整備が進む見込みです。一方、ケーブル事業においては、OTTなど動画提供サービスに対する競争力強化、伝送する情報量の増大、経営資源の効率的活用、経営の多角化などの課題に対応するためには、光化、ケーブルプラットフォームの導入、CPS/IoTの導入、無線メディアとの連携、IP化などの検討が不可欠となっています。ケーブル事業の基盤強化と効率化、大容量化、新事業分野への参入のための新しい技術に基づく製品、システム、ソリューションなどが必要とされています。

ケーブル技術ショー2018は、ケーブルコンベンション2018関連イベントとして一般社団法人日本CATV技術協会、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、一般社団法人衛星放送協会の下に開催します。出展者と多くのご来場の方々の交流の場を創出し、ケーブル事業のさらなる発展に貢献してまいります。

全体概要

- 名称：ケーブルコンベンション2018関連イベント「ケーブル技術ショー2018」
Cable Tech Show 2018
- 会期：2018年7月19日（木）9：30～18：00 / 7月20日（金）9：30～17：00
- 会場：東京国際フォーラム ホールE
- 主催：（一社）日本CATV技術協会 / （一社）日本ケーブルテレビ連盟 / （一社）衛星放送協会
- 後援：総務省
- 特別協賛：（一社）日本ケーブルラボ / ケーブルテレビ無線利活用促進協議会 /
（一社）日本コミュニティ放送協会（順不同）
- 特別協力：NHK / （一社）日本民間放送連盟 / （一社）放送サービス高度化推進協会（順不同）
- 協力：日本テレビ放送網（株） / （株）TBSテレビ / （株）フジテレビジョン / （株）テレビ朝日 /
（株）テレビ東京 / 朝日新聞社 / 毎日新聞社 / 読売新聞社 / 日本経済新聞社 / 産業経済新聞社 /
東京新聞 / 共同通信社 / 時事通信社 / （一社）日本経済団体連合会 / （一社）電子情報技術産業協会 /
（一社）電波産業会 / （一社）電気通信事業者協会 / （一社）テレコムサービス協会 /
（一社）日本インターネットプロバイダー協会 / （一社）コンピュータエンターテインメント協会 /
（一財）全国地域情報化推進協会 / （一財）電波技術協会（順不同）

技術展示会

- 会期：2018年7月19日（木）9：30～18：00 / 7月20日（金）9：30～17：00
- 会場：東京国際フォーラム ホールE
- 入場料：無料（入場登録制）
- 展示規模：87社、82ブース、265小間

技術セミナー

会 期：2018年7月19日（木）9：30～18：00 / 7月20日（金）9：30～16：30

会 場：東京国際フォーラム ホールE隣接 セミナー室-1、セミナー室-2

参 加 料：無料（申込制）

開 催 規 模：15社・団体、21枠

関連行事

テ ー マ：Make the Next Stage ～ケーブルテレビから、次世代を創り出そう～

イベント名：ケーブルコンベンション2018

会 期：2018年7月19日（木）、20日（金）

会 場：東京国際フォーラム

主 催：一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟／一般社団法人日本CATV技術協会／一般社団法人衛星放送協会

後 援：総務省

オフィシャルスポンサー：KDDI株式会社／日本デジタル配信株式会社

申 込 方 法：Web事前登録制（一部有料）



来場者数

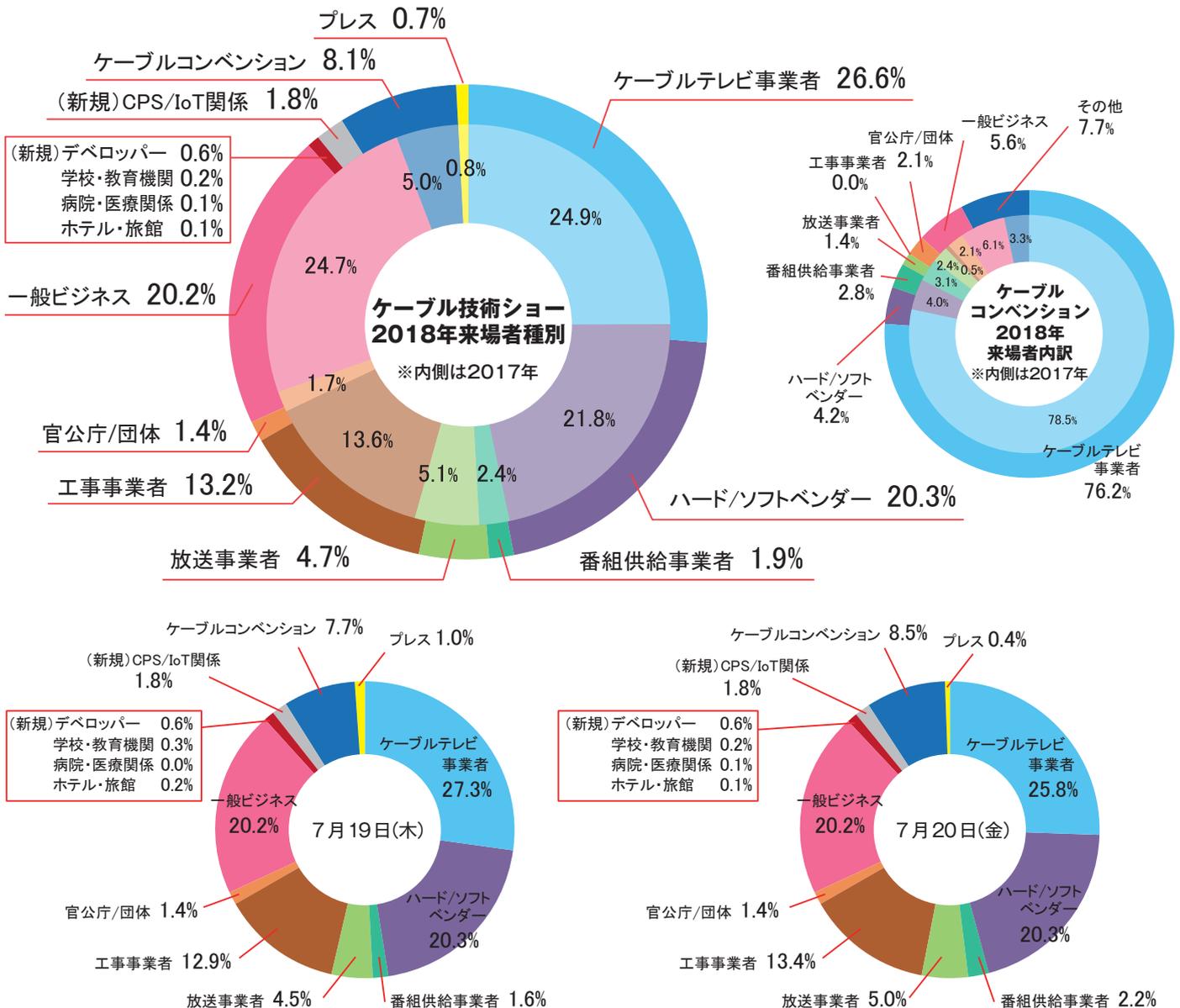
プログラム別来場者数

プログラム	日程	来場者数
技術展示会	7/19 (木) 晴れ	6,921 名
	7/20 (金) 晴れ	4,695 名
	合計	11,616 名
技術セミナー	7/19 (木) 晴れ	775 名
	7/20 (金) 晴れ	616 名
	合計	1,391 名

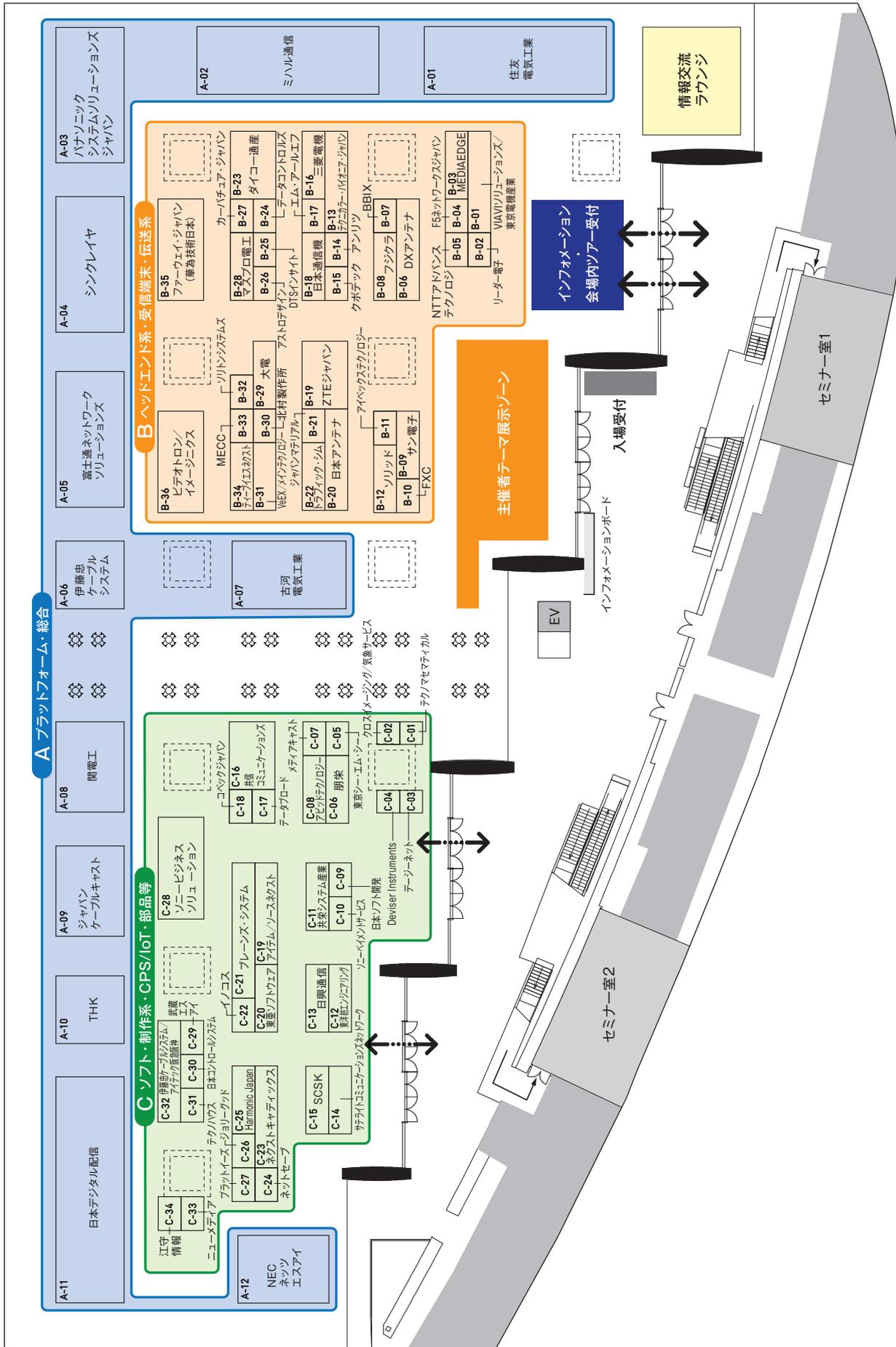
※ プライベートセミナーの人数も含まれます。

業種別来場者の比率

※ デベロッパー、学校・教育機関、病院・医療関係、ホテル・旅館、CPS/IoT関係は2018年度から識別した業種



技術展示会 会場図



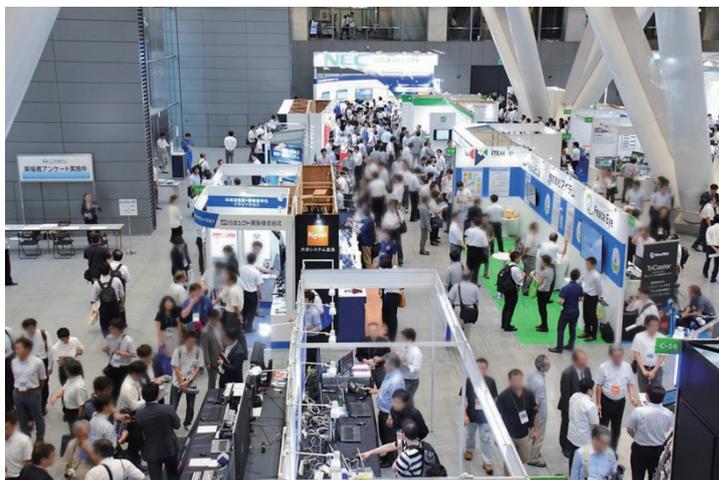
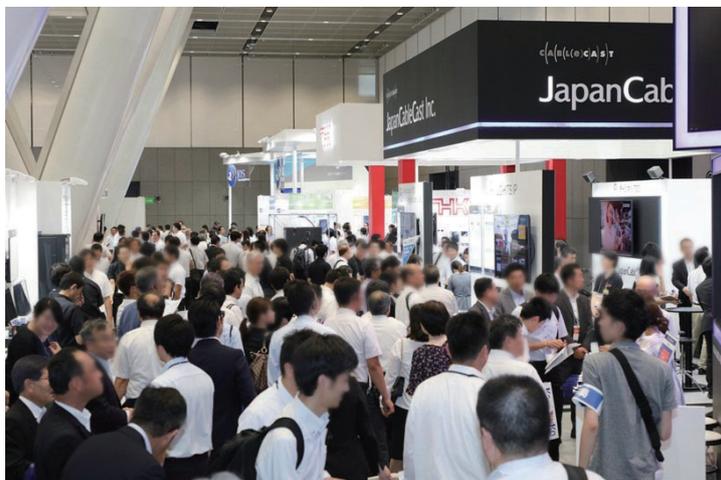
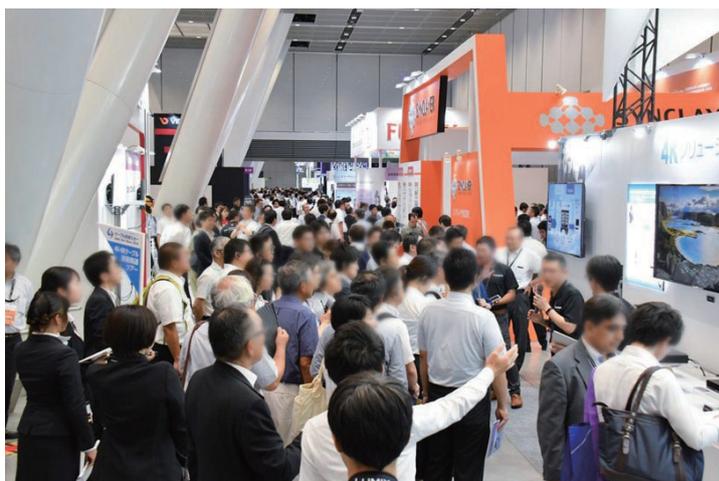
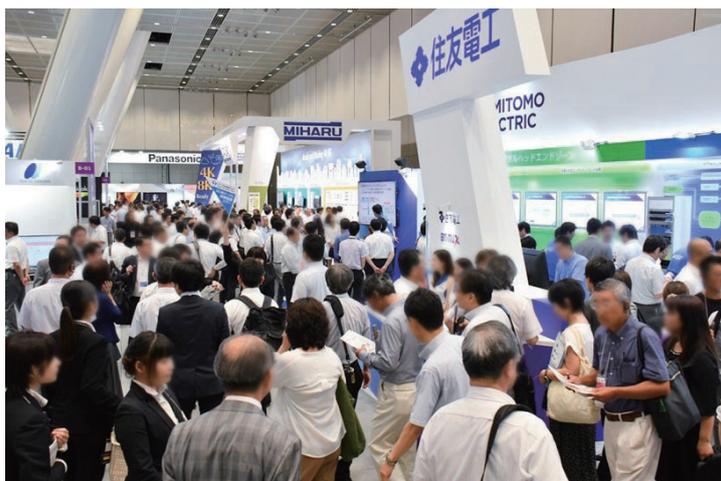
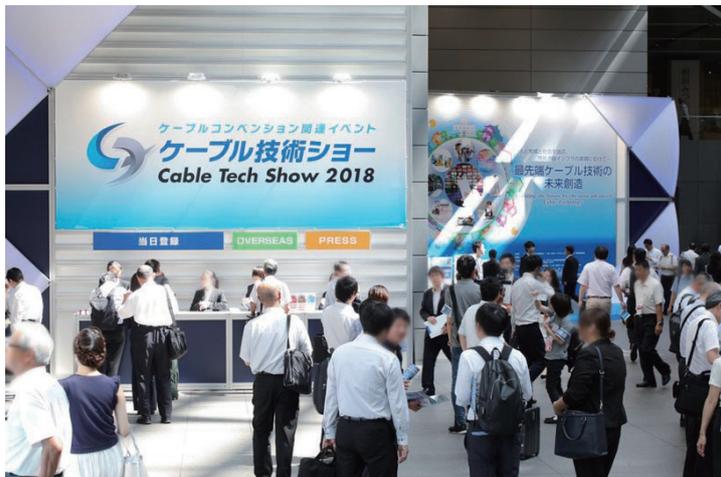
技術展示会 出展者一覧

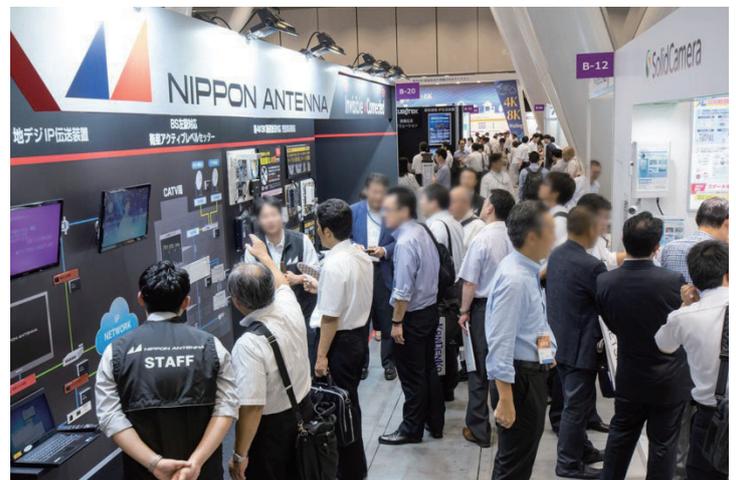
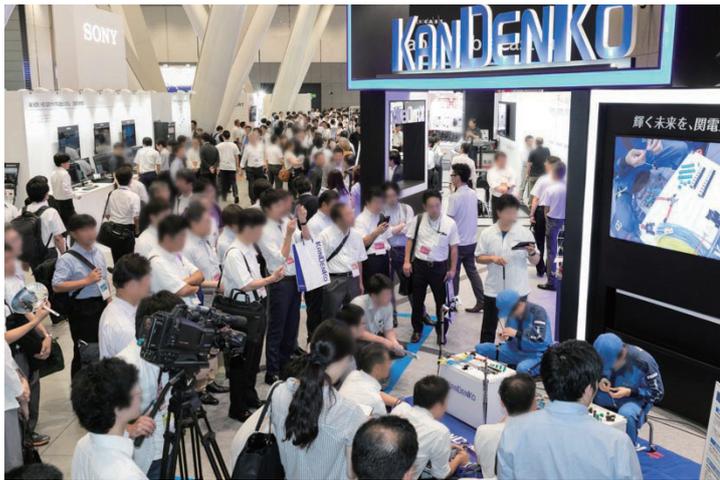
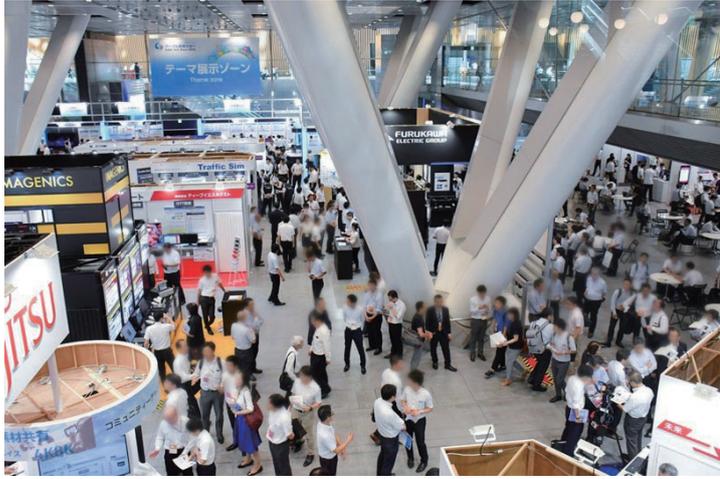
小間 No.	会社名	小間 数
C-19	アイテム/ソースネクスト	3
C-32	アイテック阪急阪神/伊藤忠ケーブルシステム	3
B-11	アイベックステクノロジー	1
B-26	アストロデザイン	1
C-08	アビッドテクノロジー	2
B-14	アンリツ	1
A-06	伊藤忠ケーブルシステム	6
C-22	イノコス	1
B-01	VIAVIソリューションズ/東京電機産業	3
C-15	SCSK	2
A-12	NEC ネットエスアイ	8
B-05	NTT アドバンステクノロジー	1
B-10	FXC	1
B-04	F5 ネットワークスジャパン	1
B-17	エム・アールエフ	1
C-34	江守情報	1
B-27	カーバチュア・ジャパン	1
A-08	関電工	8
B-30	北村製作所	1
C-11	共栄システム産業	2
C-16	共信コミュニケーションズ	4
B-15	クボテック	1
C-02	クロスイメージング/気象サービス	1
C-18	コペックジャパン	1
C-14	サテライトコミュニケーションズネットワーク	2
B-09	サン電子	2
A-09	ジャパンケーブルキャスト	8
B-21	ジャパンマテリアル	1
C-26	ジョリーグッド	1
A-04	シンクレイヤ	12
A-01	住友電気工業	16
B-19	ZTE ジャパン	4
C-28	ソニービジネスソリューション	6
C-10	ソニーペイメントサービス	1
B-12	ソリッド	2
B-32	ソリトンシステムズ	1
B-23	ダイコー通産	4
B-29	大電	2
A-10	THK	6
B-06	DX アンテナ	3
B-25	DTS インサイト	1
B-34	ティーブイエスネクスト	2
C-04	Deviser Instruments	1

C-03	デージーネット	1
B-24	データコントロールズ	1
C-17	データブロード	1
B-13	テクニカラー・パイオニア・ジャパン	3
C-31	テクノハウス	1
C-01	テクノマセマティカル	1
C-20	東亜ソフトウェア	2
C-05	東京シー・エム・シー	1
C-12	東洋紡エンジニアリング	2
B-22	トラフィック・シム	2
C-13	日興通信	2
B-20	日本アンテナ	3
C-30	日本コントロールシステム	1
C-09	日本ソフト開発	1
B-18	日本通信機	2
A-11	日本デジタル配信	20
C-33	ニューメディア	1
C-23	ネクストキャディックス	3
C-24	ネットセーブ	1
C-25	Harmonic Japan	2
A-03	パナソニック システムソリューションズ ジャパン	12
B-31	VeEX/メインテクノロジー	2
B-07	BBIX	1
B-36	ビデオトロン/イメージニクス	6
B-35	ファーウェイ・ジャパン (華為技術日本)	6
B-08	フジクラ	2
A-05	富士通ネットワークソリューションズ	12
C-27	プラットイーズ	1
A-07	古河電気工業	10
C-21	ブレイズ・システム	4
C-06	朋栄	2
B-28	マスプロ電工	2
B-16	三菱電機	2
A-02	ミハル通信	16
C-29	武蔵エスアイ	1
B-33	MECC	1
B-03	MEDIAEDGE	2
C-07	メディアキャスト	1
B-02	リーダー電子	1

(五十音順)

技術展示会 会場写真





技術セミナー 概要

実施概要

会 期：2018年7月19日（木）9：30～18：00 / 7月20日（金）9：30～16：30

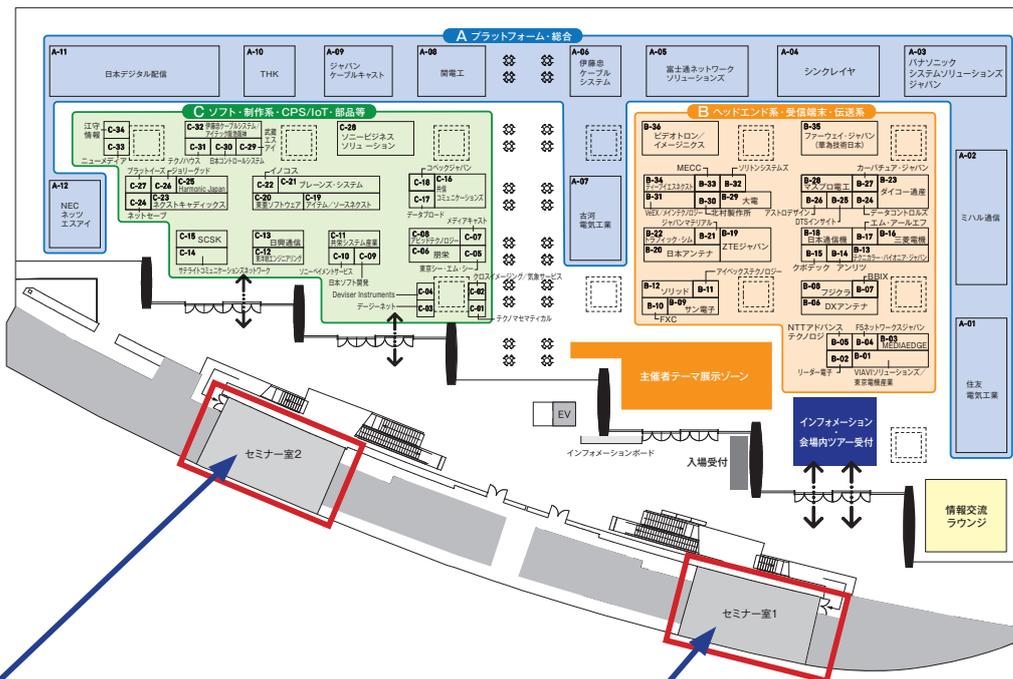
会 場：東京国際フォーラム ホールE隣接 セミナー室-1、セミナー室-2

参 加 料：無料（申込制）

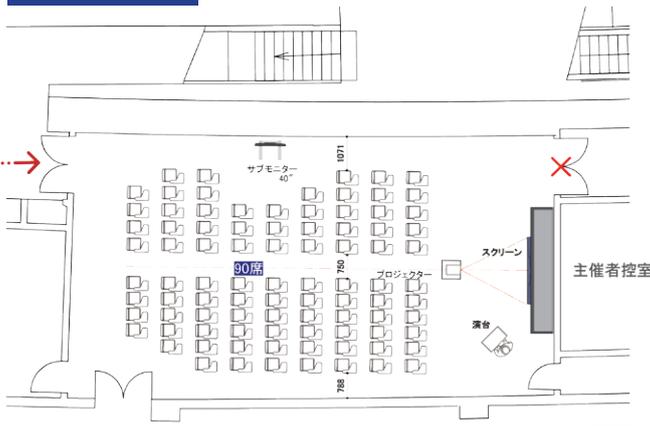
開 催 規 模：15社、団体、21枠

会場

セミナー室-1
 セミナー室-2
 収容人数：90名



セミナー室2



セミナー室1



技術セミナー 写真



7月19日(木)

開催時間	セミナー室1	セミナー室2
9:30 ▼ 10:30	主催者技術セミナー 新4K8K衛星放送用受信設備の施工等について 講師：林孝一 (一社)日本CATV技術協会 事業部長	古河電気工業 ケーブルテレビの未来/Next One Service
11:00 ▼ 12:00	シンクレイヤ over10Gを実現する次世代PONシステムのご提案	ミハル通信 新4K8K衛星放送対応ヘッドエンド最新ソリューション 講師：永田昌浩 ユニット長
12:30 ▼ 13:30	THK 「災害は忘れた頃にやってくる。」 一地震対策に有効なTHK免震技術一 講師：今野宏 取締役副社長	住友電気工業 住友電工の考える高度化CATVシステム
14:00 ▼ 15:00	トラフィック・シム 新しい放送(4K)と監視のあり方 講師：大島真亮 営業部	BBIX インターネットトラフィック2018年最新動向 講師：安部博文 IX事業推進部 部長
15:30 ▼ 16:30	パナソニック システム ソリューションズ ジャパン 共創で目指す次世代放送・サービスソリューション	伊藤忠ケーブルシステム 超高速時代に向けての取組み「10G/集合住宅対策」 講師：田部井和道 課長
17:00 ▼ 18:00	Harmonic Japan 業界初!事例紹介(クラウドプレイアウト、 All-in-one統計多重装置<愛媛CATV様>) 講師：鈴木善樹 セールスディレクター 柴田祐輔 技術部課長	VIAVIソリューションズ/東京電機産業 次世代の品質保証R-Phy/D3.1を見据えた HFCとFTTHの監視とメンテナンス 講師：川上楠生

□ オープンセミナー ■ プライベートセミナー

7月20日(金)

開催時間	セミナー室1	セミナー室2
9:30 ▼ 10:30	住友電気工業 住友電工の考える高度化 CATVシステム	ミハル通信 次世代型ブロードバンドシステム ~最新FTTHソリューション~ 講師：長田勝 主任
11:00 ▼ 12:00	シンクレイヤ 高度BS放送(4K/8K放送)対応の技術的課題と シンクレイヤの4K/8K対応最新機器のご提案	伊藤忠ケーブルシステム/ アイテック阪急阪神 「進化するインターネットサポートとAI活用事例」 講師：佐野浩太郎 株式会社オウケイウェイヴ E-sol 事業部エンター プライズ営業部 部長
12:30 ▼ 13:30	VIAVIソリューションズ/東京電機産業 次世代の品質保証 R-Phy/D3.1を見据えた HFCとFTTHの監視とメンテナンス 講師：川上楠生	共栄システム産業 PNMツールによる障害予兆監視と現場での 障害予兆箇所の発見@HFC 講師：小森和範 代表取締役
14:00 ▼ 15:00	主催者技術セミナー 進化するケーブルアクセスネットワーク ~技術、動向、エネルギーへの影響~ 講師：Daniel Howard 氏 Hitachi Consulting Co., Ltd. Americas Energy Solution (元SCTE 初代CTO)	BBIX 今からはじめるインターネットオペレーション 講師：関美咲 IX事業推進部
15:30 ▼ 16:30		国立研究開発法人 情報通信研究機構 情報通信研究機構におけるIoTや地域情報サービスの実証 ~LPWA(Low Power Wide Area)テストベッドの取り組み~ 講師：河合栄治 (国研)情報通信研究機構 ソーシャルイノベーションユニット 総合テストベッド研究開発推進センター テストベッド研究開発 運用室 室長

□ オープンセミナー ■ プライベートセミナー

テーマ展示ゾーン 概要

展示概要

主催者テーマ展示ゾーンでは、人と地域と社会を結ぶ、情報通信インフラの実現に向けた「最先端ケーブル技術の未来創造」をテーマに様々な技術、ソリューションをご紹介しました。

①4K・8K 試験放送放映／②MMTによる8Kスーパーハイビジョン伝送技術（日本放送協会放送技術研究所）

2018年12月に本放送が開始される新4K8K衛星放送に加え、ケーブルテレビやインターネット回線においても、映像・音声やデータ放送などの多重化方式にMMTを採用することで、視聴者が伝送路を意識せずに番組を選択できる放送・通信共用受信機の実現を目指す研究を紹介しました。

③新4K8K衛星放送（放送サービス高度化推進協会／日本CATV技術協会）

新4K8K衛星放送では、BS・110度CS放送の左旋電波2224~3224 MHzを利用しますが、遮へい性能の低い機器を使用していると、機器からの電波漏えいにより無線LANやブロードバンドワイヤレスアクセスなどの他の無線サービスへの障害となったり、逆に新4K8K衛星放送に受信障害が発生する可能性があります。どのような機器を使用すれば電波漏えいを防止できるのか、ここでは実機を展示して解説しつつ、電波漏えい対策に関わる助成金制度等についても紹介しました。

④放送高度化技術／ケーブルネットワーク高度化技術（日本ケーブルラボ）

ケーブルテレビ利用者にとって、ケーブルテレビをより楽しく、快適に見ていただけるための次世代伝送方式の検討や、お年寄りにも優しいユーザインタフェースを実現するタブレットリモコン、そして効率的な4Kコンテンツ編集システムなど放送高度化技術を紹介しました。また、ケーブル事業者がよりよいサービスを提供するためにネットワーク品質を測定するシステムや、伝送路をFTTH化する際の導入コスト分析ができるコスト分析シミュレータなど、ケーブルネットワーク高度化技術を紹介しました。さらに放送サービスと同様に地域密着が特徴である地域BWAと、LPWA、LoRaを利用したIoT機器との連携によるサービス事例も紹介をしました。

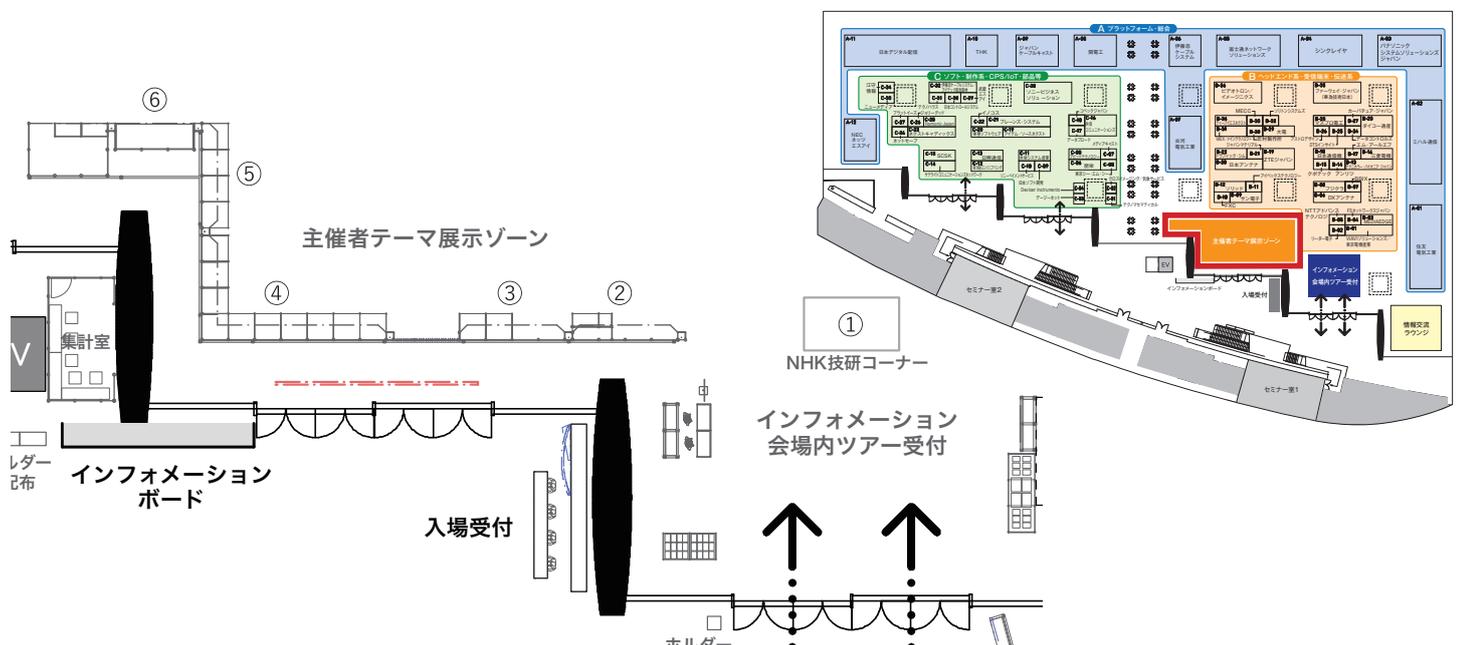
⑤4K伝送技術+防災・減災技術（IPDC Forum）

4K伝送技術と連動した防災・減災技術を紹介しました。まず、2017年の総務省実証実験で実施したHFCを活用したDASH方式（ダッシュ）による4K配信。さらに、4K配信と連動させ関連情報や防災減災情報を、Bluetooth経由でスマホ向けに多言語でプッシュする技術を実演を交えて紹介しました。地域のインバウンド需要に応える新たなソリューションを見ることができました。

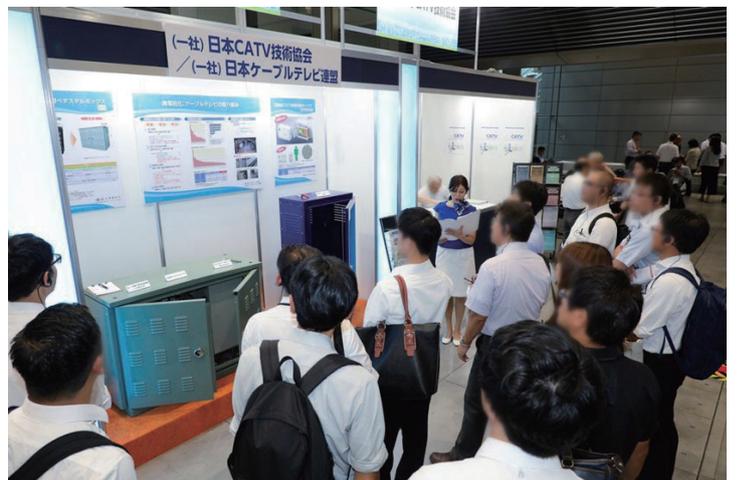
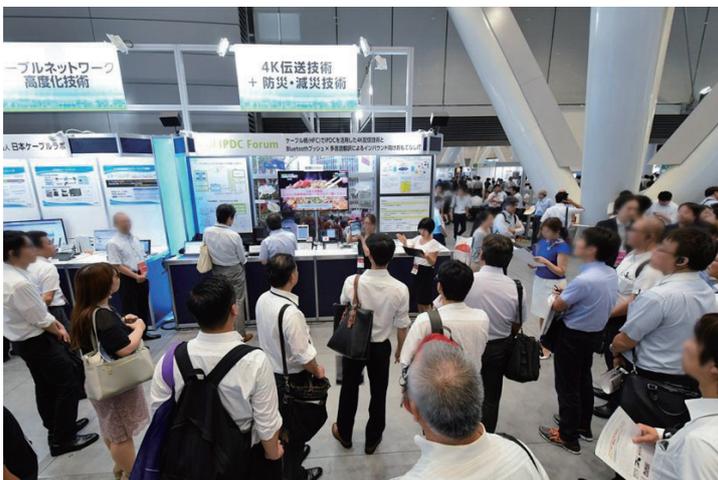
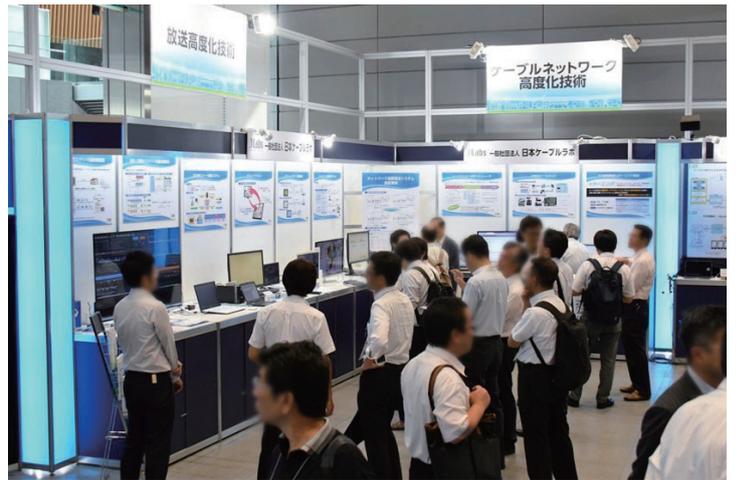
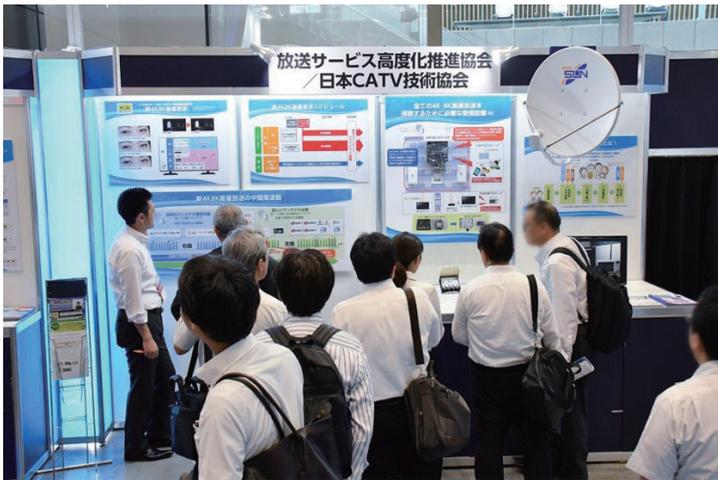
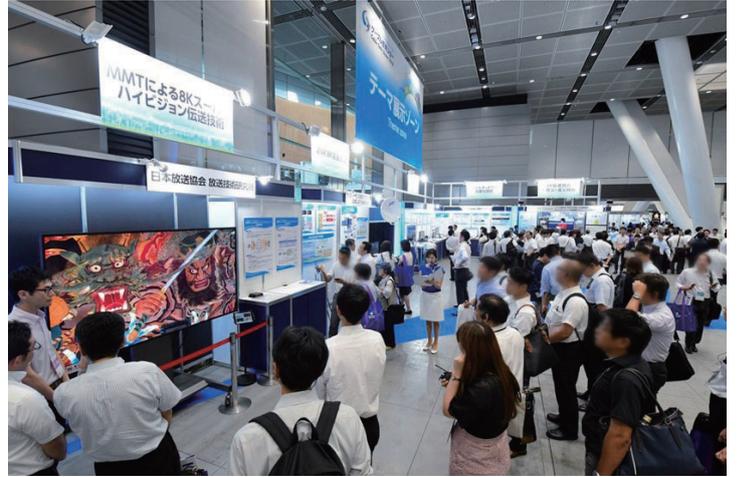
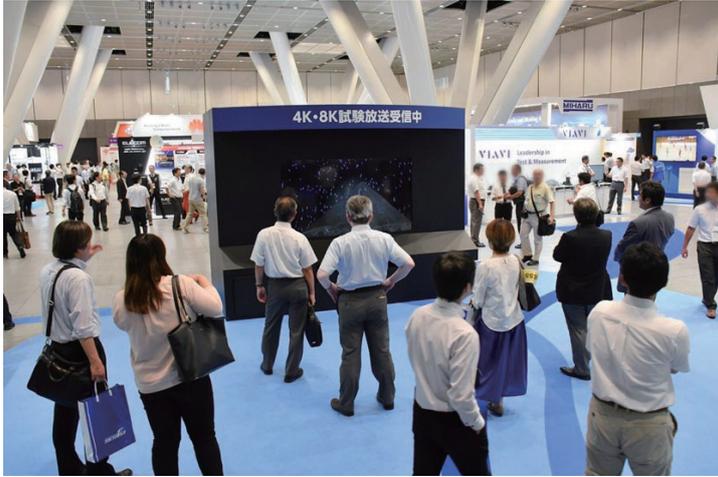
⑥無電柱化（日本CATV技術協会／日本ケーブルテレビ連盟）

無電柱化は、2016年12月の国会で「無電柱化推進法」が全会一致で可決・成立し、東京都も積極的に推進している大きなビジネスチャンスです。今後、無電柱化に求められているコスト削減方策として、浅層埋設（せんそうまいせつ）の基準が緩和され、小型ボックス、直接埋設が検討されています。これらと並び欠かせないのが地上機器の小型化です。日本ケーブルテレビ連盟およびメーカー2社の協力の下、試作中の小型化ペダスタルボックスの展示を行いました。

位置図



テーマ展示ゾーン 写真



会場内ツアー 概要

実施概要

「最先端ケーブル技術の未来創造」をテーマにした主催者テーマ展示ゾーンをわかりやすく紹介するテーマ展示ツアーや、ツアーテーマにマッチした見どころ満載の出展者ブースを巡る会場内ツアーを実施しました。2日間合計でテーマ展示ツアー209名、会場内ツアー191名の来場者にご参加いただきました。

プログラム

■主催者テーマ展示ツアー 所要時間：15分 参加者数：209名

主催者テーマ展示ツアーでは、開催テーマの「最先端ケーブル技術の未来創造」を実感していただく展示品／機器・ソリューションをわかりやすく紹介しました。

■4K・8Kケーブル技術関連ツアー 所要時間：60分 参加者数：84名

ケーブルテレビサービスの高度化および次世代放送に向けた最新の4K・8K技術、ソリューションを紹介しました。

訪問出展者：

住友電気工業 (A-01) / パナソニックシステムソリューションズジャパン (A-03) / シンクレイヤ (A-04) / ジャパンケーブルキャスト (A-09) / 日本デジタル配信 (A-11) / 日本コントロールシステム (C-30)

■ニューテクノロジー・ソリューションツアー 所要時間：40分 参加者数：60名

IoTを使った住宅供給会社による高齢者向け住宅や老人ホームなどの居住者見守りサービス、お手持ちのPC・スマートフォン・タブレットでケーブルテレビチャンネルの一部を楽しめる新しいサービスや商用運用として世界初のクラウドプレイアウトなどを紹介しました。

訪問出展者：

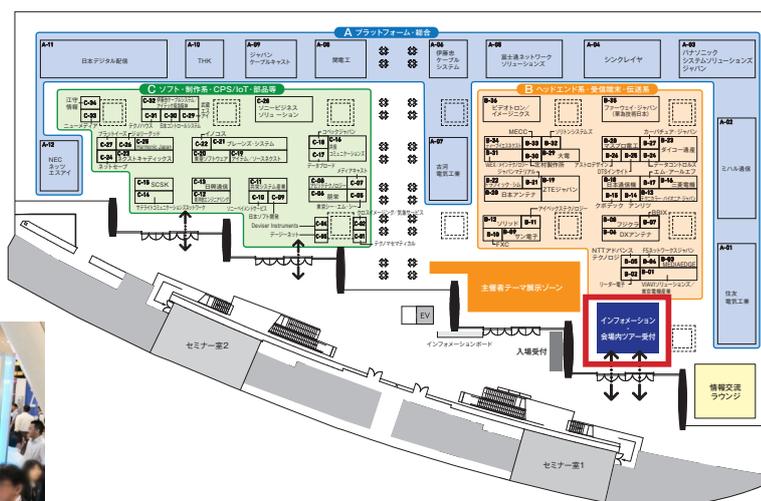
富士通ネットワークソリューションズ (A-05) / 日本デジタル配信 (A-11) / ジョリーグッド (C-26) / Harmonic Japan (C-25)

■防災・減災、地方創生関連ツアー 所要時間：50分 参加者数：47名

コミュニティチャンネルを通じた迅速な災害情報の提供、VRシステムと連動した免振装置の体験デモンストレーション、マイナンバーカードを利用したマイナポータル連携システムやテレプラ防災、電子母子健康システム、そしてIoTを活用した防災・減災・地域情報ソリューションなど様々な提案を紹介しました。

訪問出展者：

データロード (C-17) / ジャパンケーブルキャスト (A-09) / THK (A-10) / 日本デジタル配信 (A-11) / サテライトコミュニケーションズネットワーク (C-14)



会場内ツアー 写真



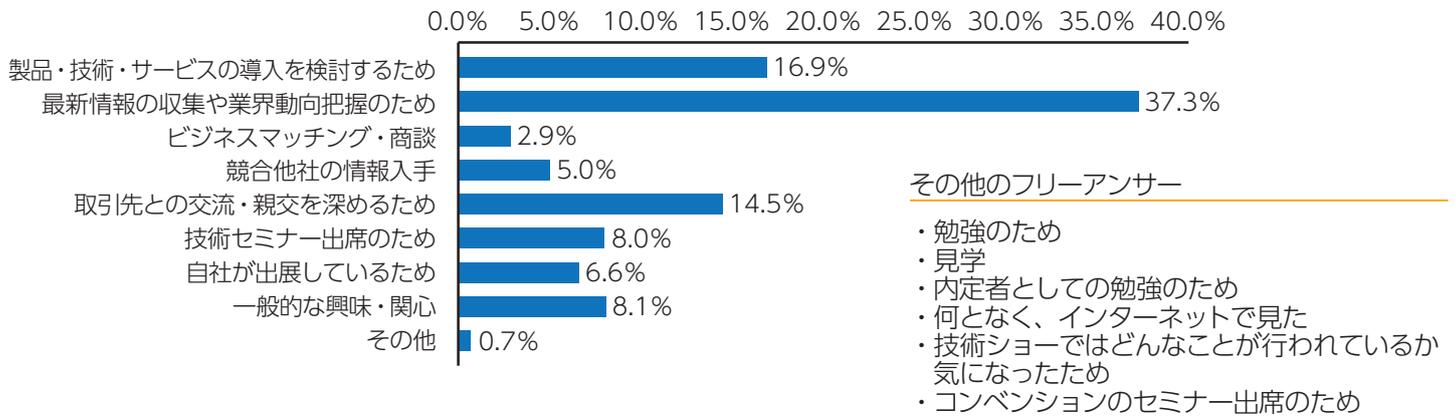




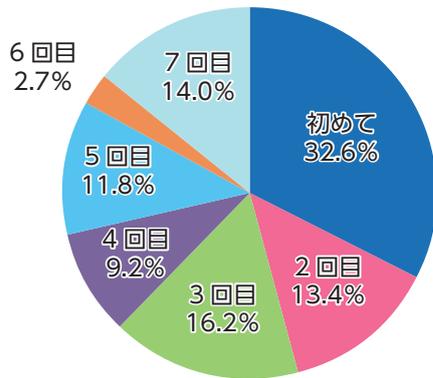
来場者アンケート集計結果

来場者アンケート集計結果

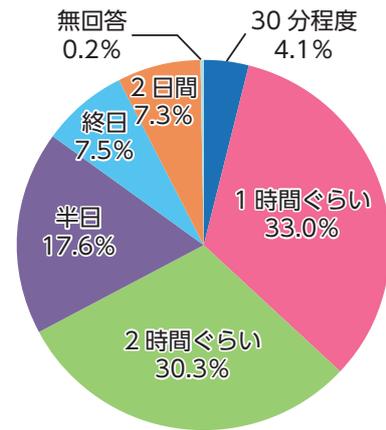
Q1. 本展の来場目的は何ですか？（複数回答可）



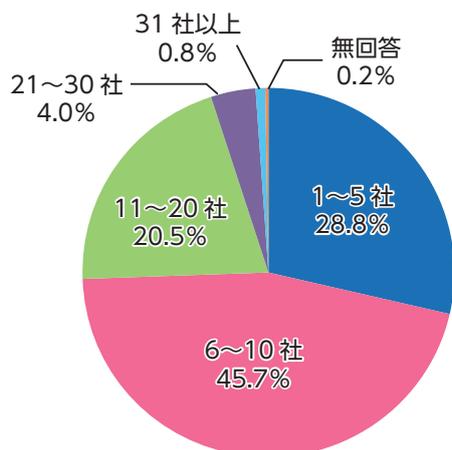
Q2. 過去を含めて本展への来場頻度をお聞かせください。



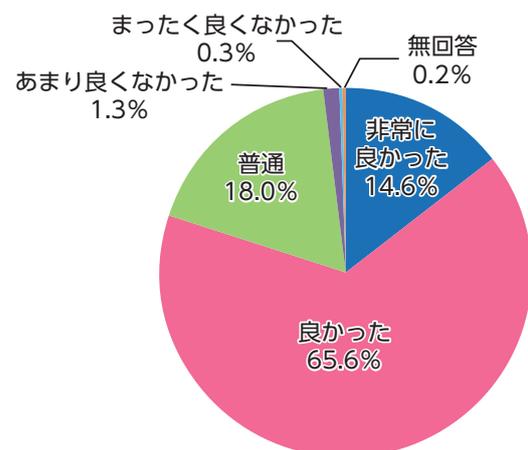
Q3. 本展をどのぐらいの時間ご覧になりましたか。



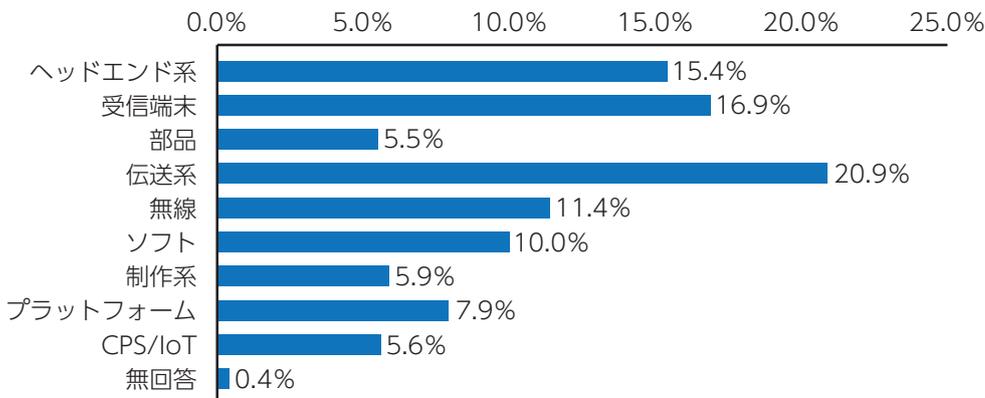
Q4. 今回、何社訪問されましたか。



Q5. 本展をご覧になった印象をお聞かせください。



Q6. 興味を持った出展内容・分野は何ですか（複数回答可）



その理由をお聞かせください。()内は選択内容・分野

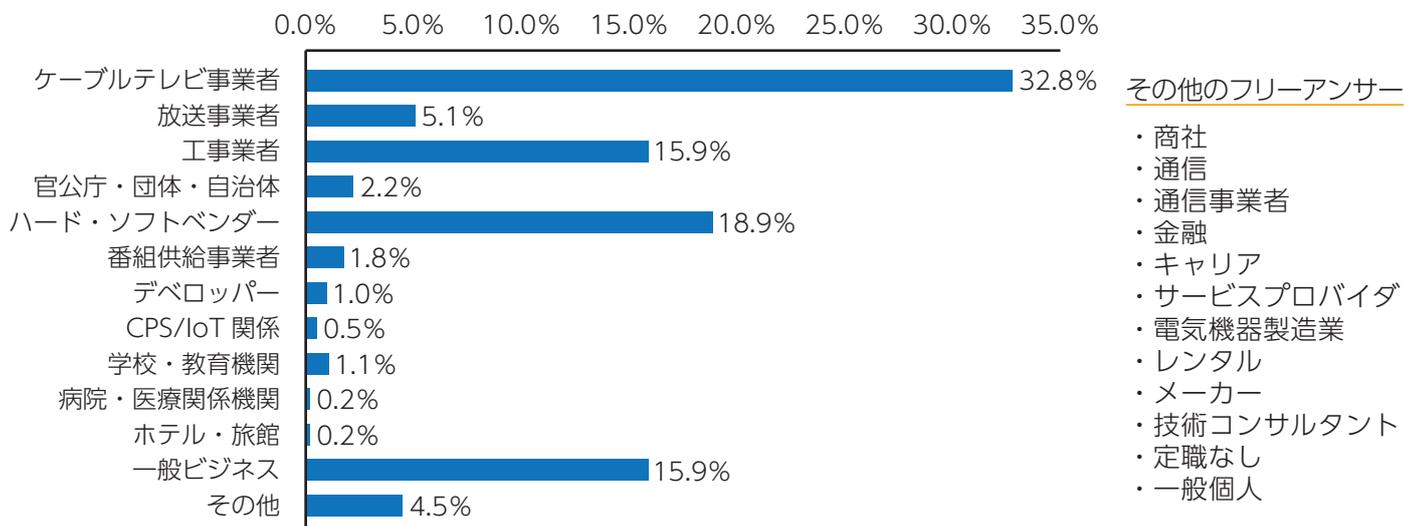
- ・SMS系の視察が目的（プラットフォーム）
- ・集合住宅関連の導入・保守業務を日頃行っている為（ブースタ等）（部品）
- ・自社でIoTの提案等を行うことがあるため参考になった（無線）
- ・伝送系の業務に関わっている。また、小電力無線とケーブルを合わせたサービスの展開（ヘッドエンド系、受信端末、伝送系、無線、ソフト）
- ・自社のシステムに組み込みの可能性がどうか知りたかったため（CPS/IoT）
- ・監視カメラの種類・機能を知り、お客様への販売を促進する為（受信端末、部品、伝送系、無線）
- ・4K8K本放送開始に伴う動向に関心があるので（制作系）
- ・FTTH導入に向けての情報収集、4K8K対応製品について（ヘッドエンド系、受信端末、部品、伝送系）
- ・4K STBの新型を確認出来た（受信端末）
- ・10G-PON導入検討（受信端末、無線）
- ・西日本豪雨災害を受けて緊急情報を配信するツールを検討している中で、データ放送と防災行政無線やラジオの連携など有効なものがあった（伝送系、プラットフォーム）
- ・IP配信に関心あり（ヘッドエンド、受信端末、伝送系）
- ・災害時の情報配信システムの重要性（制作系）
- ・CtSTBに興味があるので（受信端末）
- ・新しいものがあったから CATVルート管理ソフト（伝送系、無線、ソフト）
- ・一次産業用のスピニアウトに関心（CPS/IoT）
- ・部品の小型化他（ヘッドエンド系、受信端末、部品、伝送系）
- ・IP伝送へどういったタイミングで変わっていくのか知りたかった（伝送系）
- ・STBにアンドロイド搭載されたことに驚きました（受信端末、ソフト、制作系）
- ・LTE, FMラジオ（防災用）, LPWAを中心に見に行った（受信端末、無線）

来場者アンケート集計結果

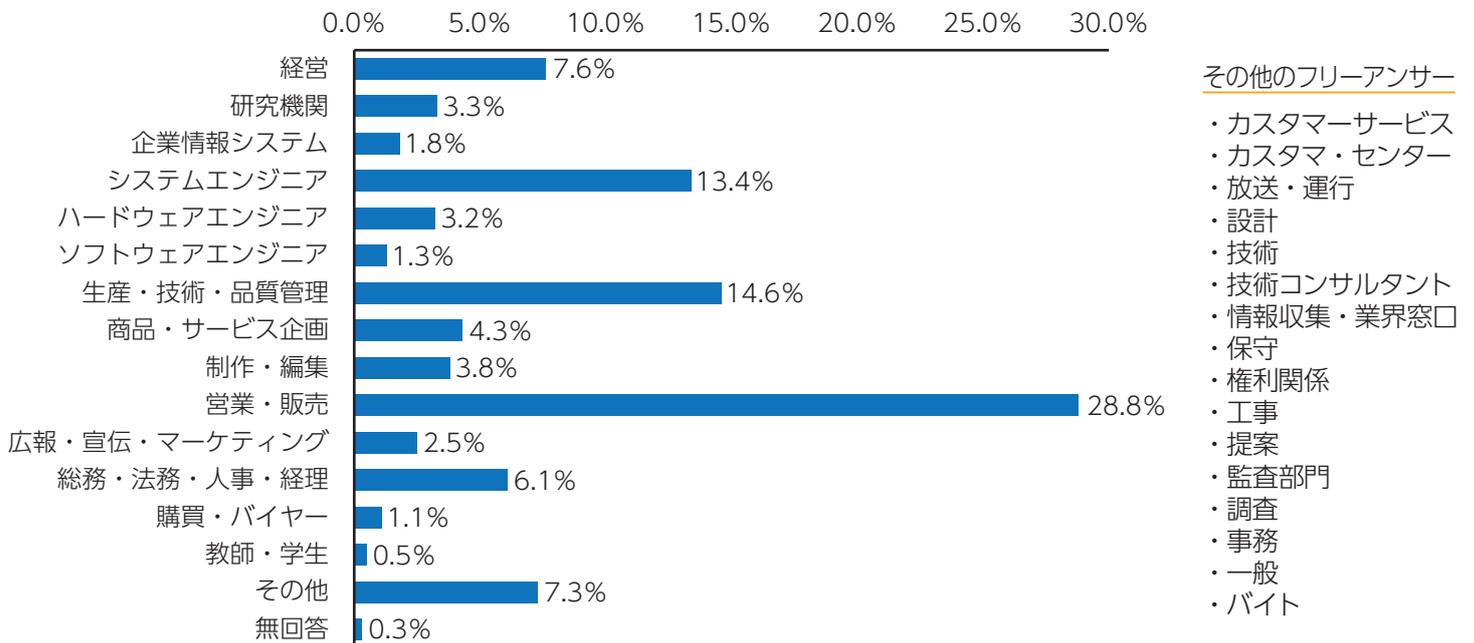
Q7. 今後のケーブル技術ショーに期待するものがあればお聞かせください。

- ・集合住宅受信障害（4K、8K）。
- ・自治体向けソリューションの展示もありましたが、あまり目立たない感じでした。せっかくですので、そちらのコーナーもあれば。
- ・VR伝送。
- ・5Gによるワクワク体験。
- ・イノベーション、地域振興にかかわるもの。
- ・STB取扱メーカーがもっと多く参加して欲しい。
- ・今までのHFC設備を利用した新サービス。
- ・4K等HE機器に関する出展等サーバインフラ系の入場証があるとわかりやすい。
- ・映像音響機器の出展が増えると良い。
- ・IP、AI関連。
- ・業務支援システムの紹介（AI、RA等）。
- ・会場内ツアーの充実！！
- ・ケーブルテレビサービスの将来が見える製品等に期待します。
- ・防災、減災関連の情報及び技術的な紹介。
- ・IoT関連をもう少し多く。
- ・各メーカーによる技術コンテストみたいのがあればよいと思う。
- ・CATV技術者以外の資格関係のコーナーも充実してほしい。
- ・BWA技術について知りたい。
- ・cable部材をもう少し増やして欲しい。
- ・注目を浴びているスマートホームソリューションや無線サービス系の展示が増えると面白いと思います。
- ・ネットワーク基盤系ソリューション技術。
- ・測定機メーカーブースがあるとうれしい。（機器を探す際に、比較検討しやすい）企業別よりも分野別にエリアを分けてもらえるとうれしい。（4K/8KなどのVideo分野、CMTS/FTTHなどのインターネット分野、ソフトウェアやアプリケーション分野、監視分野など）
- ・伝送系の充実と番組系出展の復活。
- ・自治体と事業者が住民に正確な情報伝達をするためには、やはりTV端末基点での防災情報展開が有益だと思うので国の補助金や交付金などでCATV技術が災害抑止に活躍して欲しいと願う。
- ・4K変調器。

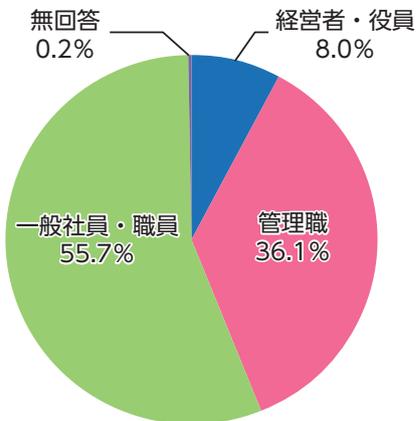
F1. 勤務先の業種をお聞きします。



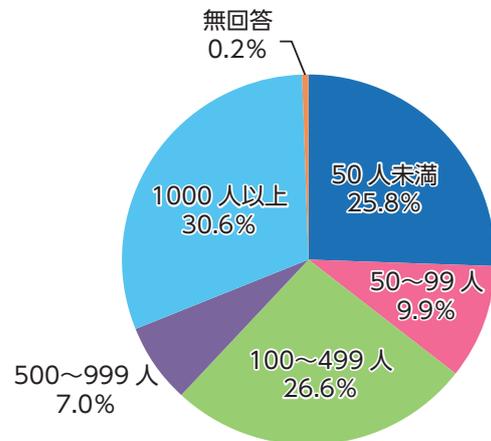
F2. 勤務先での職種をお聞きします。



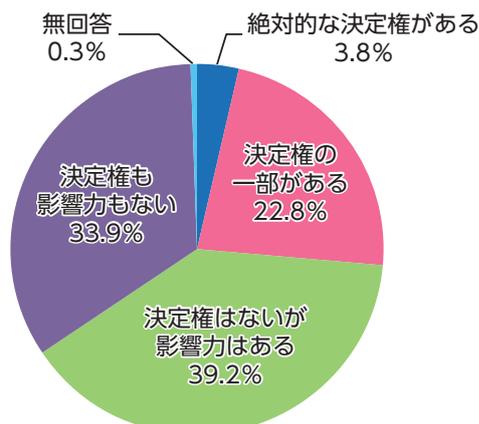
F3. 職務レベルをお聞きします。



F4. 従業員数は。

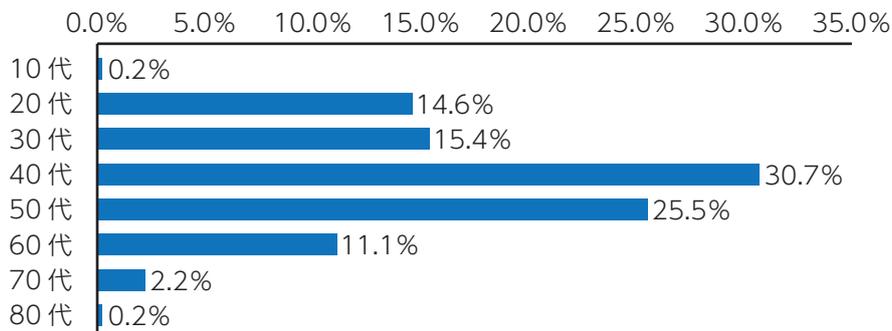


F5. あなたは製品・技術・サービスの購入・導入について決定権や影響力をお持ちですか。

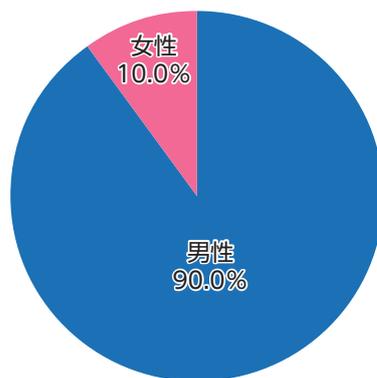


来場者アンケート集計結果

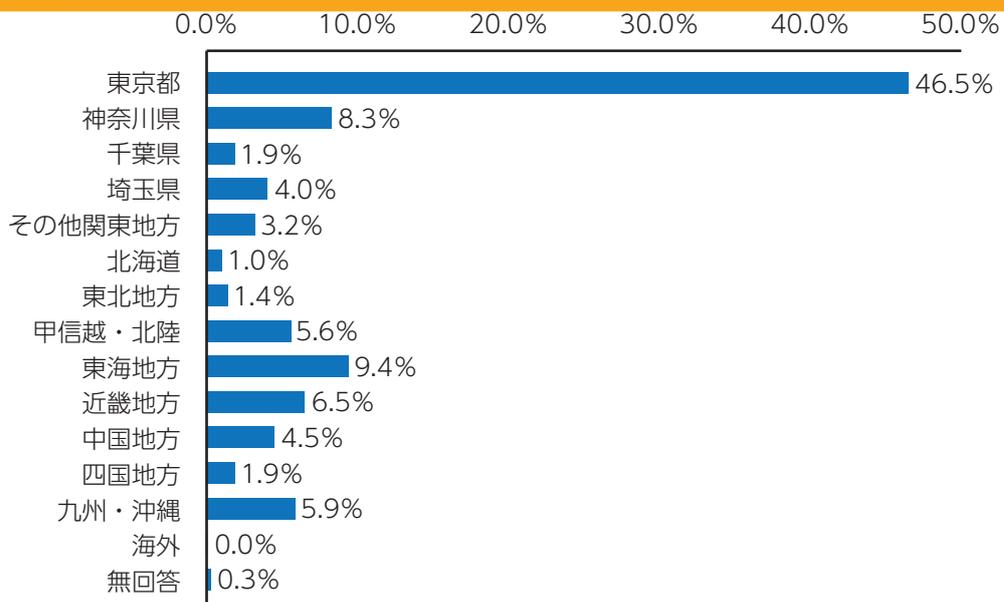
F6. あなたの年齢は。



F7. あなたの性別は。



F8. 勤務地はどこですか。



次回開催予定

会 期：2019年6月19日（水）～20日（木）

会 場：東京国際フォーラム ホールE